| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|-------------|--|----|-----------|-----|---|
| 環境体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | 2 | | ・個別訓練を行う際は周囲の音や人が入れり込めない空間の方がよい ・金、土曜日は地域交流のため仕切りを外して広くしている |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | 2 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になさ れているか | | 3 | | ・階段が急斜で手すりが鉄のため、夏場はあ熱くなる。 ※2Fが事業所のため ・階段、段差あり、トイレの手すりなし 等 ・段差、2Fエレベーターなし |
| | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 1 | 5 | | ・常時、情報共有を行っている(SNS等) |
| 業務改善 | (5) | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実 施して | 2 | 4 | | ・昨年度から2回目のアンケートを実施 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公 開しているか | 1 | 4 | | ・公表予定 ・HPのリニューアル予定 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげて いるか | 1 | 4 | | ・確保できるように努めている |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している か | 2 | 4 | | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題 を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成 しているか | 8 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセス メントツールを使用しているか | 7 | 1 | | |
| | 11) | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 8 | 0 | | |
| | 12) | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 7 | 0 | | |
| | 13) | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか | 6 | 2 | | ・起案書をもとに活動に取り組む |
| | <u>14</u>) | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | 1 | | ・集団活動と個別療育(言語) |
| | (15) | 支援開始前には、職員間で必ず打つ合わせをし、その日に行 われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | 4 | | ・情報共有を確実に行うためにもせめて1日1回はミー ティングを行う方がよい |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行わ れた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | 0 | 7 | | 毎日ではないが、コミュニケーションとして普段の会話で行っている(共有している)・ |
| | 17) | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の 検証・改善につなげているか | 5 | 2 | | |
| | (18) | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の 見直しの必要性を判断しているか | 8 | 0 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を 行っているか | 6 | 2 | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの 状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 7 | 1 | | |
| | 21) | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの 下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発 生時の連絡)を適切におこなっているか | 1 | 1 | | ・すべての学校とは出来ていないが、情報共有するよう につとめている |

| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主 治医等と連絡体制を整えているか | 4 | 5 | | ・該当児童がいない |
|--------------------|-------------|---|---|---|---|----------------------|
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童 発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている か | 1 | 1 | | |
| | | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等しているか | 0 | 8 | | ・該当児童がまだいない |
| | (25) | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター棟の専門機 関と連携し、助言や研修をうけているいか | 3 | 7 | | ・研修等に参加している |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと 活動する機会があるか | 6 | 2 | | ・親子食堂(金・土)に参加し交流している |
| | 27) | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 5 | 5 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の 状況や課題について共通理解を持っているか | 2 | 2 | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を保護者と伝え合い、子どもの発達の 状況や課題について共通理解を持っているか | 7 | 4 | | ・情報提供をしている |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか | 7 | 1 | | |
| | 31) | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必 要な助言と支援を行っているか | 8 | 0 | | |
| 保護者へ の説明責 任等 | 32) | 父母の会に活動を支援したり、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士の連携をしているか | 0 | 5 | | ・保護者会なし |
| | 33) | 子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備する とともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応しているか | 7 | 1 | | |
| | 34) | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等 の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 2 | 6 | | ・SNSをつかった情報発信 |
| | 35) | 個人情報に十分注意しているか | 8 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか | 4 | 3 | 1 | |
| | 37) | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所 運営を図っているか | 7 | 1 | | ・金、土曜日の地域交流 |
| | 38) | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュ アルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 39 | 非常火害の発生に備え、定期的に避難、救出に必要な訓練を 行っているか | 7 | 1 | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な 対応がされているか | 6 | 2 | | |
| | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組 織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を 得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 5 | | |
| | <u>42</u>) | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づ く対応がされているか | 5 | 2 | | |
| | 41) | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | 2 | | その他:1 |
| - | | | _ | | | |